

明るく楽しいお正月を願い

民生児童委員が「おせち料理」作り

昨年12月30日、町民生児童委員の皆さんが町公民館でおせち料理作りを行いました。これは「歳末たすけあい募金」で寄せられた募金をもとに、ひとり暮らしの高齢者世帯などへおせち料理を届け、明るく楽しいお正月を迎えてもらうことを目的に毎年行われているもので、今回も約40人の委員の皆さんが参加し、心を込めて作ったおせち料理を皆さんへ届けました。



おせちを作る民生児童委員の皆さん(写真提供:町社会福祉協議会)

1年間の無火災に向け 関係機関の連帯を確認
消防団員ら 勇壮に

1月5日、消防出初式が行われ、町消防団員や女性消防隊ら総勢約250人が参加し、今年1年の防火防災への決意を新たにしました。当日は熊野神社で無火災祈願祭が行われ、野沢中央通りで閲団式を行った後、出初式の会場である道の駅までの間を分列行進しました。出初式では長谷川克美消防団長が訓示を行い、目黒豊子女性消防隊長が無火災への誓いを述べました。



雪の中を分列行進する町消防車両

税金の大切さと役割を学ぶ

西会津小で「租税教室」

税金の大切さを学ぶ租税教室が1月16日、西会津小6年生を対象に開かれました。当日は町の税務担当職員が講師を務め、児童らは税金が無くなってしまった社会で起こるさまざまな混乱を描いたアニメを鑑賞し、税金の必要性や役割、用途などについて学びました。また、こういった施設や事業に税金が使われているかをクイズ形式で学び、税金への理解を深めていました。



税金の役割や使われ方について学ぶ6年生

毎年恒例の校内行事 全校生が札をめがけ 熱戦

西会津高で百人一首大会

昨年12月18日、西会津高校で毎年恒例の「百人一首大会」が開催されました。大会では一試合につき20分で25首が読み上げられ、生徒らは読み手の声に合わせて、勢いよく札を取り合っていました。午前中に全校生を12グループに分けた予選が行われ、午後には予選を勝ち上がった16人による決勝戦が行われました。白熱した競技の結果、渡部優さん(1年)が優勝し、鎌倉アルテミスさん(3年)が準優勝に輝きました。



読み手の声に合わせて札を取り合う生徒(写真提供:西会津高校)

将来を担う中学生 町の将来を考える

町長と西中3年生が意見交換会

昨年12月16日、西会津中3年生と町長との意見交換会が西中多目的ホールで行われ、薄町長が町の現状や若い世代に望むことなどについて講話しました。町長は「町の将来を守り、育てるのは若い皆さん。そのためには町の歴史や文化、自然などをよく知ることが大切。これからは地方の時代です。皆さんが自分の将来を考える際にはぜひ町のことも考えてください」と話し、その後、生徒らがまちづくりや町の政策などについて質問し、町長と意見を交換しました。



町の課題や現状について意見を交わす西中3年生と町長

新たな一年の幕開け 新春交歓会

新春祝い 子年の飛躍を誓う

令和2年新春交歓会が1月10日、町公民館で開かれ、町内外から約200人が参加し、新年の幕開けを祝いました。式では、薄町長と清野町議会議長が年頭のあいさつを述べ、伊勢竜彰さんが新春の舞として「黒田武士」を披露した後、町長や議長、来賓の皆さんにより鏡開きが行われました。参加者らは町食生活改善推進委員の皆さんが地元の食材を使用した料理を味わいながら、新年の飛躍を誓い合っていました。



新たな一年の幕開けを祝う参加者の皆さん

園児らが伝統行事を体験

こゆりこども園で
「だんごさし」

こゆりこども園で1月10日、五穀豊穡や無病息災を願う小正月行事の「だんごさし」が行われ、ひまわり組の園児が挑戦しました。

園児らはまず、飾り付け用の団子を両手で上手に丸め、団子が煮えるまでの間、だんごさしの由来や目的について学びました。その後、煮えた団子を真剣な表情で思い思いにミズキの枝に刺し、縁起物の綱や小判などの飾りを取り付け、だんごの木を完成させました。園児らは楽しみながら新年の伝統行事を体験していました。

